

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院第2外科に、総排泄腔遺残症術後で膣狭窄に対する造膣術の手術を受け通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学第2外科講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

総排泄腔遺残症術後の膣狭窄に対する造膣術の効果に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学第2外科講座 助教 三谷泰之

3. 研究の目的

総排泄腔遺残症に対して乳児期に直腸肛門形成術と同時に膣形成が行われ、その後膣狭窄を認めた患者さんに対する造膣術の有効性を検討する。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

総排泄腔遺残症に対して乳児期に直腸肛門形成術と同時に膣形成が行われ膣狭窄を認め、当院で膣拡張を目的に造膣術を受けた患者さん

(2) 利用させて頂く情報

カルテ記載から得られた臨床データを解析します。

(3) 方法

術後半年間に外来受診した際の観察結果

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

一切ありません

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学第2外科講座 担当医師 三谷泰之

TEL : 073-441-0613 FAX : 073-441-0613

E-mail : ymitani@wakayama-med.ac.jp